

インテリア建材 **リノバ**

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2~3
■ お手入れ方法	4
■ 調整方法について	5~10
■ アフターメンテナンスについて	11
■ 商品保証について	12

重要なお知らせ

ご使用の前に
安全のため、必ずお守りください。「リノバ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。
もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「リノバ」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。



お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとする
扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店又は、当社お
客さま相談センターまでご相談ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の3段階に分類して
います。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が 想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う 危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者 などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる 場合があります。

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

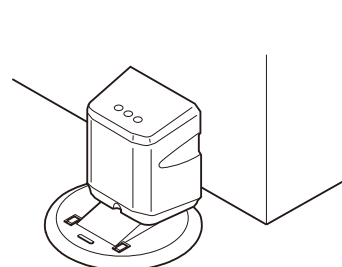
ドアストッパー(マグネットタイプ)

⚠ 警告

- 下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

- (1) ペースメーカーなどの体内埋込型機器
- (2) 人工心肺などの生命維持用機器
- (3) 装着型の心電計など

その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカー又は販売者にご確認ください。

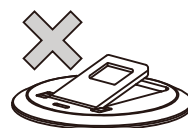


ドアストッパー

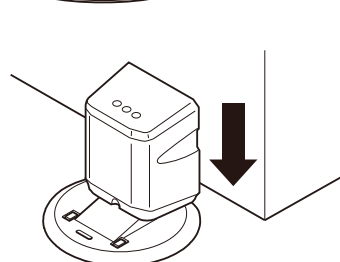
室内ドア(ドアストッパー(マグネットタイプ))

⚠ 注意

- 床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。思わぬケガをするおそれがあります。



- 扉を開放しておくときは、必ずロックレバーを下げて扉を固定してください。扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。



室内引戸

⚠ 注意

- 本体にぶら下がったり、もたれかからないでください。本体が外れケガをするおそれがあります。

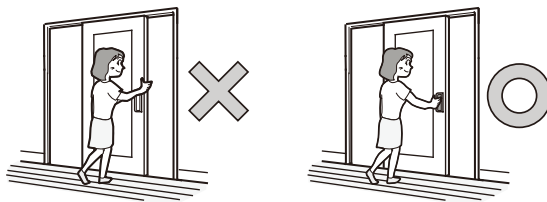


特に注意していただきたいこと

室内建具

お願い

- ドアの調整で丁番固定ねじをゆるめた場合は調整後必ず締付け、ガタツキがないことを確認してください。
本体脱落の原因になるおそれがあります。
- 扉の開閉にあたっては、丁番側のすき間に手を置かないでください。
指を挟んでケガのおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。
- 扉の開閉にあたっては、必ず把手を持って操作してください。
把手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



- ガラスを使用している製品につきましては物が当たったり、人がぶつくと割れてケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



- 扉の下に物を挟まないようにしてください。
扉が持ち上がり、本体脱落の原因になるおそれがあります。

- 扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使いください。
強い風などで、勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをするおそれがあります。

- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。
扉のソリ・変色などの原因になります。



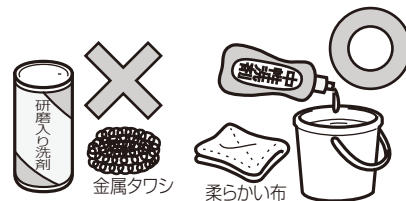
- 扉に粘着テープでポスターなどを張らないでください。
表面が傷むおそれがあります。



ガラスを使用している製品(室内建具)

お願い

- ガラスはキズつけないように取扱ってください。
- 金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。
ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞ってふき取ってください。又、乾いた柔らかい布でからぶきをしてください。



お手入れ方法

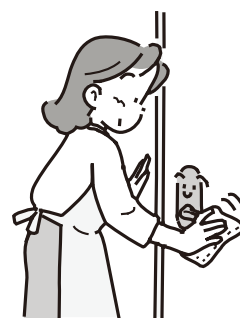
建具やカバー材の表面など（木目・ガラスなど）

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
- ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
- ゴミがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にゴミがたまりますと、扉の滑らかな走行のさまたげとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。



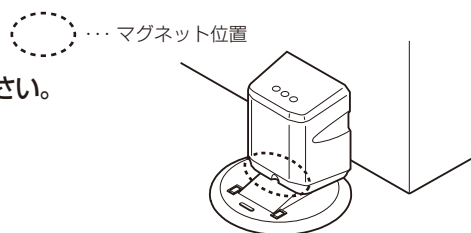
把手・引手

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
 - ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。
 - シリンダー錠のキーの抜き差しや回転操作が悪くなった場合は、鉛筆（柔らかい芯）の粉や黒鉛粉またはシリンダー錠専用潤滑剤を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切込み面を鉛筆でなぞったあと、キーで抜き差しを数回行ってください。
- ※鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は動きが良くても、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。



マグネットストッパー

- マグネット部に異物が付着している場合は取り除いてください。
磁力が低下して、ストッパーが作動しないことがあります。



ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします。

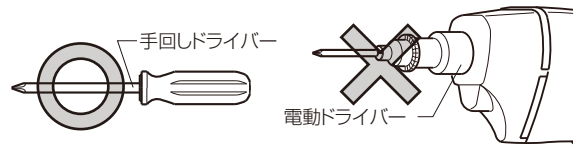
当社では商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、日常的に通気や換気をこまめに行ってください。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。又、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間密閉した後は、特に気をつけてください。

調整方法について

●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店又は、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
- 建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

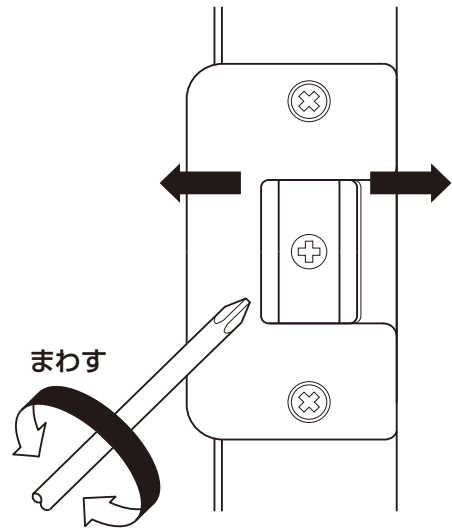
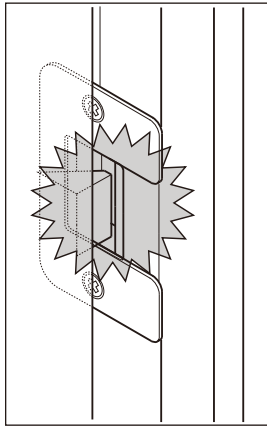
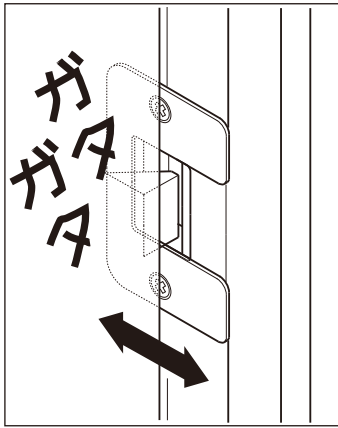


■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

室内ドア・戸襖ドア / ストライクによる建付け調整

ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない

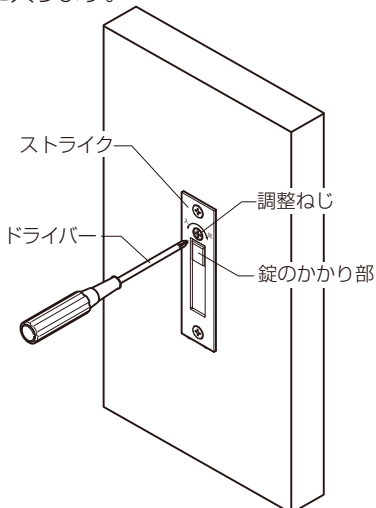


ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm

室内引戸 / 引戸錠のかかり調整

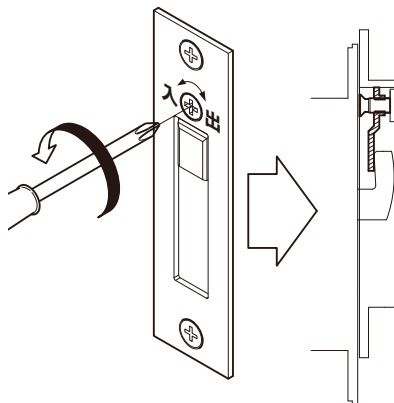
■引戸錠のかかり調整

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



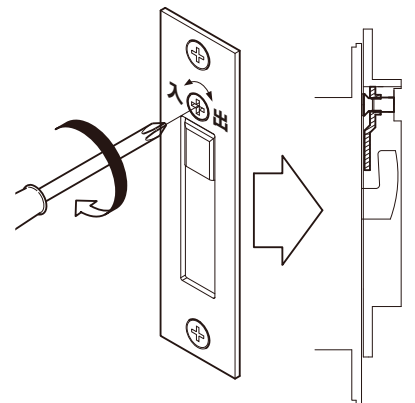
【本体と枠のすき間が大きい場合】

- 調整ねじを左に回して調整してください。



【錠がかかりにくい場合】

- 調整ねじを右に回して調整してください。



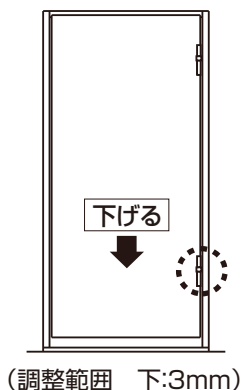
室内ドア・戸襖ドア / 丁番による建付け調整

お願い

●固定ねじをゆるめずに、左右調整ねじ、前後調整ねじを回さないでください。ねじ頭が、壊れるおそれがあります。

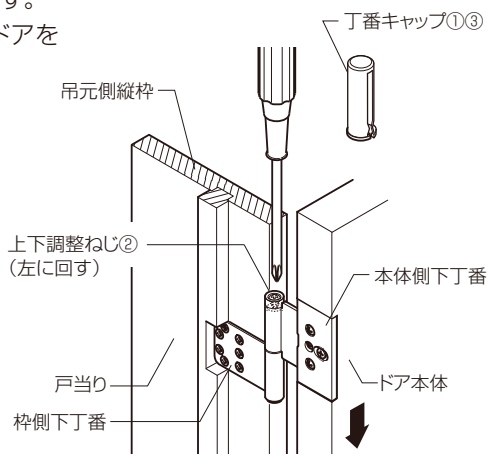
不具合例

■ドアの上部が枠に当たる。



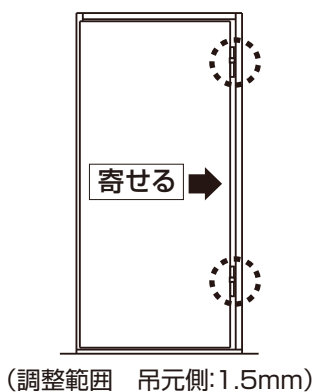
調整方法

- ①本体側下丁番キャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③丁番キャップをはめる。



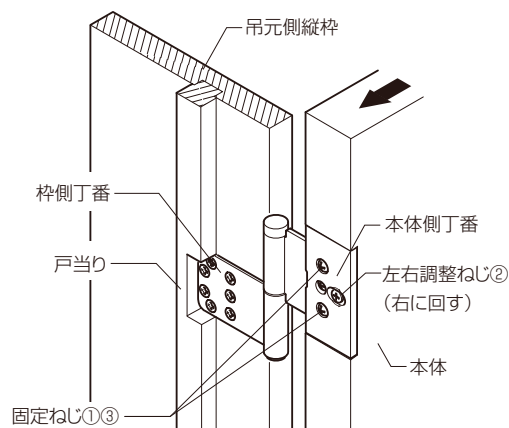
不具合例

■ドアの開き側が枠に当たる。



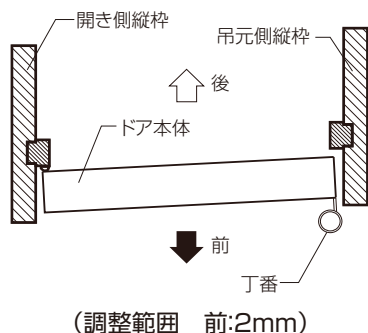
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



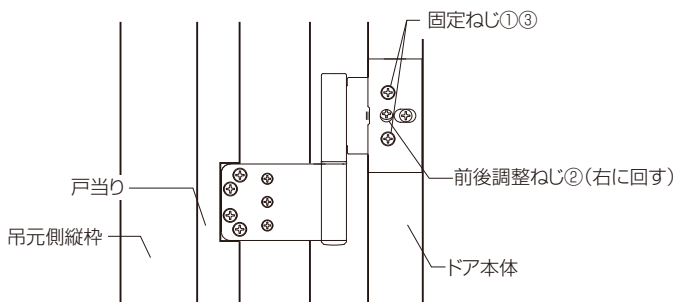
不具合例

■開き側の枠が前に出ている。



調整方法

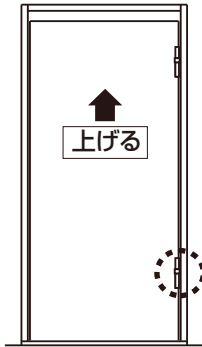
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



調整方法について

不具合例

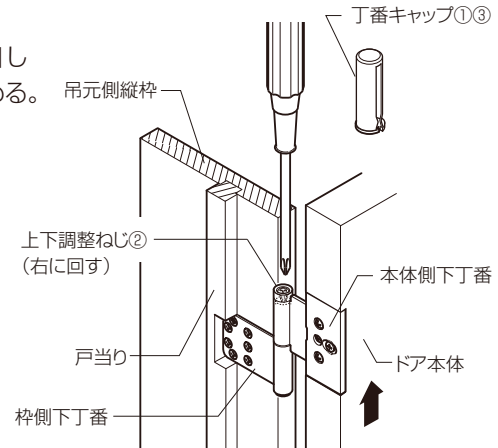
■ドアの下部が枠に当たる。



(調整範囲 上:3mm)

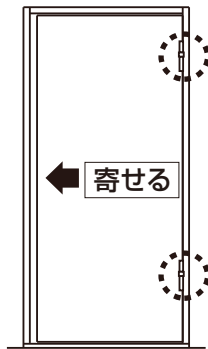
調整方法

- ①本体側下丁番キャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回し
ドアを上げて位置を決める。
- ③丁番キャップをはめる。



不具合例

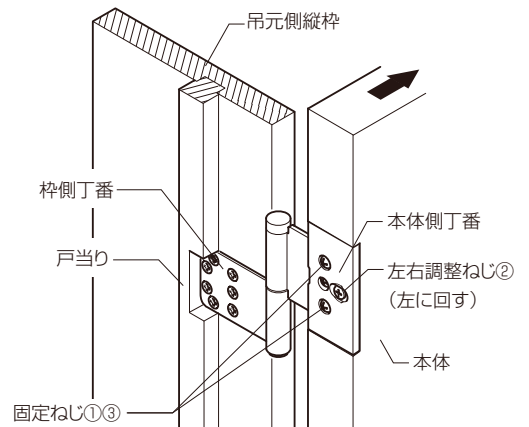
■ドアの開き側のすき間が大きすぎる。



(調整範囲 開き側:3.5mm)

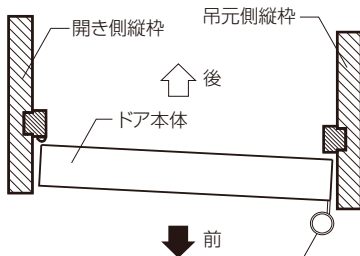
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回し
てドアを開き側に移動し
位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



不具合例

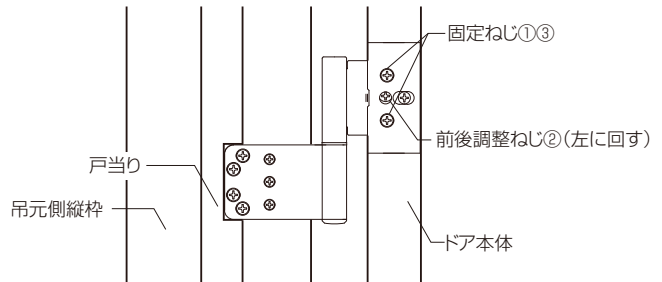
■吊元側の枠が前に出ている。



(調整範囲 後:2mm)

調整方法

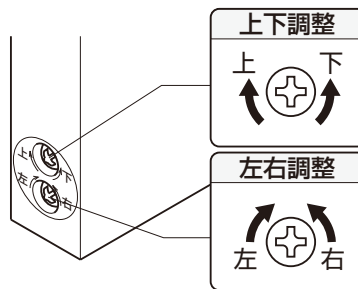
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



室内引戸・戸襖引戸／戸車による建付け調整

■上下調整(調整幅+4mm、-2mm)

- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



■左右調整(調整幅±2mm)

- 本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
※左右調整をする場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。

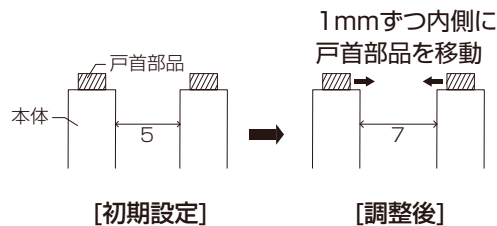
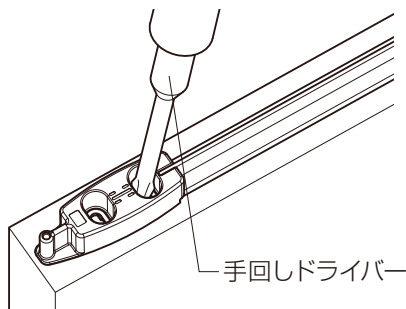
室内引戸・戸襖引戸／戸首部品による建付け調整

■戸首部品での調整

- 取付けねじをゆるめて、戸首部品を動かし調整してください。
調整後、本体を再度吊込み、確認してください。

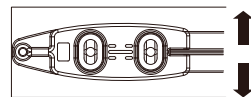
【調整方法】

①本体同士があたる場合



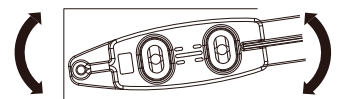
[初期設定]

[調整後]



戸首部品を前後にずらして、本体間(上部)にクリアランスを7mm確保してください。

②本体がガタつく場合



鴨居の溝幅に合わせ戸首部品を回して調整してください。

お願い

- 戸首の調整後は、戸首部品がぐらつかないように締め直してください。

調整方法について

戸襖ドア・引戸 / 襖紙の張替え方法

1 襖紙(シート)の張替えに必要なもの

- ・鋼製定規(かね尺など)・カッター・ハケ又は乾いたタオル・ヘラ・マスキングテープ
- ・プラスドライバー・マイナスドライバー・水・必要幅の襖紙(シート)・市販の澱粉糊

2 現地張りタイプの場合

※現場手配した襖紙を張った場合は、次回の張替え時から、上に張増しすることができます。

①把手(又は引手)を取外します。

※戸襖引戸の場合は、釘で固定されているので、釘を抜いて和室側の引手を取外してください。(図1)

②襖縁を養生するためマスキングテープを襖縁に張ってください。

③新しい襖紙を張ります。

●新しい襖紙を、上下・左右共に襖縁より10mmほど大きく裁断します。(予備切断)

④本体に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で付けます。

●位置を確認して襖に張付けます。しわが入った所は、もう一度はがして張りなおしてください。

次に押えハケか、乾いたタオルで中央から上下左右へ空気を押出すように軽くこすってください。多少のしわやたるみは乾燥すれば直ります。

⑤襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。

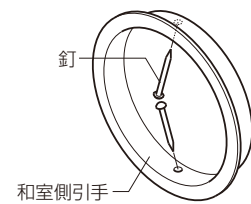
(本切断)襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などをガイドにしてカッターで切断してください。

その際、下地をキズ付けしないでください。キズが付くと縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。

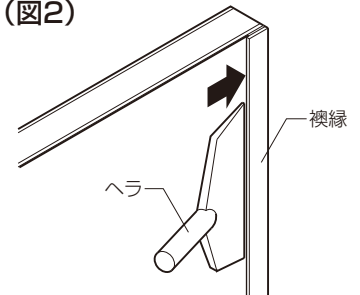
⑥襖紙の切り代をヘラなどで襖縁の内側に押込んでください。(図2)

⑦扉を吊込んで把手を取付けてください。(引戸の場合は、引手を取付けてください。)

(図1)



(図2)



お願い

- 片面をクロス張りにしないでください。
ソリが生じます。
- 両面現地張りタイプの場合は、両面とも同じ
襖紙を張ってください。

3 既製襖タイプの場合

※襖柄シートですので、張替えは不要です。

破損などで張替えが必要な場合は、市販の襖紙での対応をおすすめします。

①扉を枠から外します。

②把手を取外します。(戸襖引戸の場合は、釘で固定されているので、釘を抜いて和室側の引手を取外してください。)(図1)

③襖縁を養生するため、マスキングテープを2枚重ねて張ってください。

④糊の密着性を高めるため、襖柄シートのコーティング層と着色層をはくりします。

●襖縁の際からサンドペーパー(手作業)で、襖縁にキズを付けないようにして着色層まではくりします。

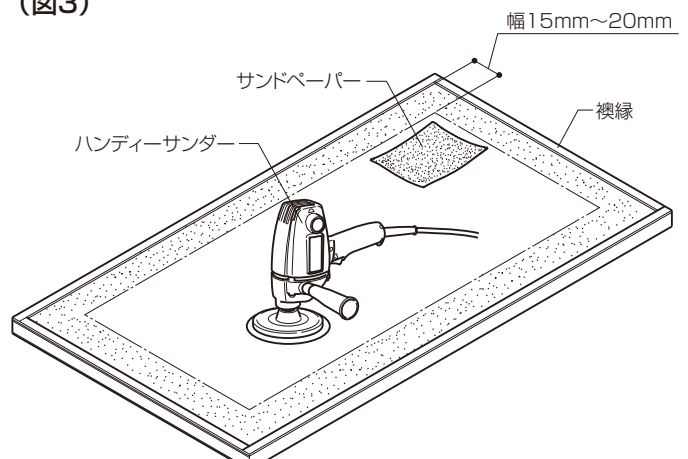
(幅15mm~20mmで行ってください。)

ハンディーサンダー等で襖柄シート全体のはくりをします。(図3)

サンドペーパーは100番~180番程度のものを使用してください。

●はくりは着色層がなくなり、襖柄シート基材の紙が出てくるまで行います。
襖基材のペーパーハニカム(ダンボール)まではくりしないでください。

(図3)



-
- ⑤襖表面に穴があいた場合は、周囲をマスキングテープで養生し、
穴うめ下地パテで基材(ペーパーハニカム)内部まですき間なく充てんし、平らにしてください。
- ⑥新しい襖紙を張ります。
- 新しい襖紙を上下・左右共に襖縁より10mmほど大きく裁断します。
 - 市販の澱粉糊を襖全体に塗布してください。(糊は「ルーアマイルド」(ヤヨイ化学)をおすすめします。)
水との稀釈要領などについては説明書にしたがってください。
 - 張りはじめに襖の柄が曲がらないようにしてください。
又、張りはじめに襖紙がよれると襖紙に負荷がかかり、はがれやすくなりますので慎重に行ってください。
 - ヘラを使い、余分な空気・糊を外に出して襖紙のしわを取除いてください。
 - 襖紙の密着をよくするため、全体をまんべんなく押えます。
- ⑦襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。
(本切断)襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などをガイドにしてカッターで切断してください。
その際、下地をキズ付けしないでください。キズが付くと縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。
- ⑧襖紙の切り代をヘラなどで襖縁の内側に押し込んでください。(図2)
- ⑨扉を吊込んで把手を取付けてください。(引戸の場合は、引手を取付けてください。)

お願い

- 片面をクロス張りにしないでください。
ソリが生じます。

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱説明書の「**調整方法について**」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の「**取扱い説明書**」をもう一度確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、弊社オフィシャルサイトよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

2016年8月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■対象商品…………… インテリア建材商品 リノバ

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
- ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
- ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
- ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談時のため、メモしておくとう便利です。

■販売店名

TEL ()

■工務店名

TEL ()

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAN-454B	事業所コード	NTC2	2018.1.15 発行
------	----------	--------	------	--------------

